

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波森林公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波3108-4 名称 阿波養魚組合 代表者 組合長 小椋 章光
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部 森林課
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト	55人	(前年度 130人)
	バンガロー	1,084人	(前年度 1,274人)
	溪流茶屋	2,233人	(前年度 2,779人)
	公園	10,385人	(前年度 11,455人)
(2) 事業の内容	阿波森林公園の施設等の利用許可・運営・管理		

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	7,771千円	(前年度8,355千円)
	施設利用料金収入		4,181千円
	指定管理料		3,548千円
	その他の収入		42千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	7,652千円	(前年度 8,201千円)
	主な支出 施設使用料		84千円
	人件費		2,314千円
	光熱水費		1,028千円
	修繕・消耗品費等		1,820千円
	委託料		1,921千円
	負担金・公租公課		151千円
	その他		334千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	平成23年度より来場者に記入していただけるよう、アンケート記入コーナーを設けている。
(2) 指定管理者の自己評価	<p>前年度は入場者が平成22年ごろの水準に戻ったかと思えたが、今年度は売り上げが下がった。天候不順ばかりではなく、利用者のニーズが変わり、あまり費用を消費しないレジャーに変わってきたように思う。最近はイベント参加型取組みが好まれている向きもある。冬場のソリ・スキー等の要望も多く、雪を利用した施設や対応が必要。</p> <p>平成29年度中にはパンフレットを作成し、さらに広報に努めたい。</p> <p>公園内のイノシシの被害が年々増えている。シカも多い。今年度はイノシシの被害、大雪による落石・倒木が多かった。管理面積が多く苦慮しており、経費面の検討をしていただきたい。</p> <p>施設、備品については、整備してから10年が経過し、修理も多い。特に寝具やクッキングヒーターの交換、暖房器具の補充が必要。</p>

(3)市の評価	<p>今年度の施設利用者は、前年度の9割弱であった。特に、テントサイトの利用者が前年度の4割程度にまで落ち込んでいる。イベントの回数、内容については前年度と変更は無く、天候にも比較的恵まれていた。利用者数減少の原因として、各地でイベント開催も活発であるために観光客が分散した可能性もある。さらにPRに努め、集客数増加を図りたい。</p> <p>今後はパンフレット等を利用した広報の拡大、冬場のイベントの開催等の自主事業の充実を図り、収支の改善を行う必要がある。</p> <p>また、獣害や設備の老朽化について、対策を協議していく必要がある。</p>
---------	--